

生成AIを活用した総合計画作成パイプライン（邑計画メソッド）

AI : このAIタグではAIまたは生成AIを活用した効率化手法について解説しています。なお、mdファイル（マークダウンファイル）とは、箇条書き表現に優れたプレーンテキストファイルのことで、人間にもAIに読みやすい形式として広く普及しているファイル形式のことを指します。

フェーズ1：現状分析

フェーズ2：基本構想・基本計画の立案

フェーズ3：構成検討・表紙デザイン

構成検討

デザインの方向性（誰に向かって作るか）

A：デザイン性が低いけど行政マンにはわかりやすい「庁内向け」行政文書（文字量：多）

B：ある程度デザイン性にも気を配り一般住民にも読みやすい「住民向け」計画書（文字量：中）

C：斬新なデザインで注目を集める「対外向け」ブランド訴求型計画書（文字量：少）

構成案の検討（前期基本計画）

最初にデザインの大きな方向性（誰に向かって作るか）を決め、次に各構成パートの章番号、本編掲載文字量（多・中・少・無し）、資料編掲載文字量（多・中・少・無し）について検討する。

構成パート	各パートの検討項目
<ul style="list-style-type: none"> 計画の位置付け・計画期間 地域の現状 課題の抽出結果 基本構想 将来像 目指すべき姿・基本理念 基本目標体系 基本計画 施策名、現状と課題、施策の内容、評価指標、関連計画、関連事業、住民の役割等 	<ul style="list-style-type: none"> 章番号 本編掲載文字量（多・中・少・無し） 資料編掲載文字量（多・中・少・無し） <p>※他市町村の事例を参考</p>

基本デザインの検討

フェーズ1の『風土ファイル』で得た市町村指定の植物や動物、有名観光資源・郷土料理、重要文化財・郷土芸能、主要な農産品・製品などの情報、『ワークショップファイル』で得た「強み」、フェーズ2の『将来像ファイル』で得たキーワードに着目。

デザインテーマ・モチーフの検討

『風土ファイル』や『ワークショップファイル』、『将来像ファイル』での個人的なキーワードに着目し、過去のデザインと比較しながらデザインテーマやメインカラー、モチーフなどについて検討する。

AI 必要に応じて生成AIで構成図（ラフ図）を複数案作成して検討材料とする。あわせて本文中のワンポイント・イラストや配色計画についても地域のデザイナーと協議して調整する。
→表紙構成図（ラフ図）案作成

基本計画ページの構成案検討

基本計画に位置付けられた施策名 現状と課題 施策の内容 評価指標 関連計画 関連事業 住民の参画など 同じ構成が続くページについて 基本ページ構成：法レイアウト 見開ページ構成を含む）について検討する。原則 そのページ内に収まるように各文章量を調整する。余白の大きい箇所について 写真を掲載する場合には 施策の内容にあった写真を発注者から提供を受けて掲載する。

計画書素案
※他市町村の事例を参考

計画書（案）作成

フェーズ4：合意形成・品質管理

合意形成に伴う修正管理・品質管理

合意形成に伴う修正・版管理

計画書案策定の過程で行われる「庁内照会」「審議会」「パブリックコメント」などについて それぞれ出された意見を分類し、意見IDを付けて一覧に整理し、反映方針と回答案を作成して、発注者と協議の上で計画書案を版管理しながら適宜修正していく。

フェーズ1：現状分析

フェーズ2：基本構想・基本計画の立案

フェーズ3：構成検討・表紙デザイン

品質管理

適宜、誤字脱字のチェックをするとともに、チェックすべき数値や出典、固有名詞をリストアップして確認を行い、あわせて用語・表記のゆれについても確認する。また、必要に応じて用語集を作成する。

AI 計画書案を生成AIに読み込ませ、

- 誤字脱字チェック
- チェックすべき数値や出典、固有名詞のリストアップ
- 用語・表記のゆれのリストアップ
- 用語集に掲載が必要そうな用語のリストアップ

などを支援させ、ファクトチェックを行う。
→課題-施策一覧表.xlsxファイル更新
→用語集.mdファイル作成

計画書作成